

『地域密着型金融の取組み状況』【平成30年度】（30年4月～31年3月）

加茂信用金庫

【事例1】

1. 項目	創業・新規事業開拓支援
2. タイトル	創業まもない小売店に対して地元大学と連携して販路開拓支援
3. 取組み内容 および成果	①当金庫は地元大学である新潟経営大学と平成29年5月に包括連携協定を締結しており、当金庫より創業資金を一部支援している小売業のSNSを使った販路拡大や新商品の提案を行う目的で取組みに至った。②当金庫取引先で販路拡大や新商品の開発などで悩んでいる企業をピックアップし同大学に提供、大学は授業の一環として学部、学年を問わず生徒を募集する。その後、担当教授、学生、当金庫職員で企業に訪問し悩み等をヒアリングし学生及び教授で同社の分析や提案内容を検討。その後代表者及び当金庫を交えてプレゼンを行う。③小売業(個人事業主)、従業員数2名④創業間もない企業に対して学生の若者の目線を取り入れた経営を行うことにより若者をターゲットとした同社として非常に参考に立ったものと感じる。また、学生がプレゼンを行った際にプレゼン内容を実行するためのアクションプランを同時に提案したことにより漠然とした提案でなく現実的な提案になったものと考えます。
4. 外部との連携	連携先:新潟経営大学 【役割】 当金庫がピックアップした企業の悩みを同大学の学生及び教授が分析を行い、分析に基づいて企業に提案を行う。ただ漠然に提案を行うものではなく、提案をどのように行動することによって実現できるかを記載したアクションプランも同時に作るにより現実的な提案となっている。
5. 担当部署名	融資部 支援課

『地域密着型金融の取組み状況』【平成30年度】（30年4月～31年3月）

加茂信用金庫

【事例2】

1. 項目	成長段階企業支援
2. タイトル	地域支援特別融資「かもしん地域支援ローン」の取扱いについて
3. 取組み内容 および成果	<p>当金庫の営業エリアの中小規模な地元事業先を積極的に支援し、将来に向けた地域経済の成長・発展に貢献すべく「地域支援特別融資『かもしん地域支援ローン』」を平成29年4月より取扱いを開始した。 本資金は、原則、無担保・無保証の事業者ローンであり、部店長が積極的に支援したい先を対象とした当金庫独自の融資商品として、既存先に限らず新規開拓のツールとして商品開発した。</p> <p>【商品概要】 手貸、証貸 金額500万円以内 期間7年以内 運転・設備資金 保証人：法人は代表者、個人事業主は不要 チェックリストによるスコアリング方式 部店長による専決可</p> <p>【31/3月末実績】 手形貸付 139件 330百万円（平均実行金利 3.02%） 証書貸付 39件 88百万円（平均実行金利 3.27%） 合 計 178件 418百万円</p>
4. 外部との連携	無し
5. 担当部署名	融資部 業務部

『地域密着型金融の取組み状況』【平成30年度】（30年4月～31年3月）

加茂信用金庫

【事例3】

1. 項目	事業再生支援
2. タイトル	事業再生・支援に向けた個別研修会および「ふれあいオリンピック」の開催
3. 取組み内容 および成果	<p>近年の中小・零細企業の業績低迷業況や回復の遅れ、経営者の高齢化・後継者不足など、取引先の問題は多様化しており、これに伴い、金庫の担うべき事業支援の手法も多様化していることから、平成27年10より認定事業再生士とアドバイザー契約を締結し、融資部支援課を担当部署として「事業性評価に基づく融資」、「事業再生支援に向けた顧客の実態把握」を徹底するため毎月3回の個別研修を開催し、支店長・役席から担当者レベルまで個別指導を行っている。</p> <p>具体的には、ビジネスモデルの俯瞰図を策定し、事業性評価を行える体制整備を行い、実際に取引先と接する融資・渉外担当の知識とスキルアップを図るべく、当初は対象店舗8店舗に、メイン先、事業改善意欲がある先を選定基準として、各店1先の対象としてスタートさせ、その後、平成30年度は19先を対象として取り組んだ。</p> <p>認定事業再生士を交えた個別研修会の中で、取引先の事業に対する検証・分析を議論し、その場で行動レベルまで落とし込んだアドバイスを行うことで、対象先のコンサルティング業務へすぐ反映できるよう指導している。事業性評価に対する理解度も浸透してきており、新年度も引き続き継続していく。</p> <p>また、毎月の個別研修会の中で生まれた地域活性化プロジェクト「ふれあいオリンピック」を、新発田、村上、当金庫の3金庫（当金庫含む）の連携により、30/9月（加茂会場）、30/10月（村上会場）、30/11月（新発田会場）で開催した。各金庫の取引先企業が参加する直販型の企画であり、参加取引先の将来性を含めた事業性評価に繋がることから、新年度も継続して開催していく。</p>
4. 外部との連携	<p>連携先：認定事業再生士</p> <p>【役割】 取引先の事業再生・支援等の実施および職員のスキルアップを図るための指導・アドバイス</p>
5. 担当部署名	融資部支援課

『地域密着型金融の取組み状況』【平成30年度】（30年4月～31年3月）

加茂信用金庫

【事例4】

1. 項目	地域密着型金融に資する評価制度・人事考課や表彰制度の制定・改正について
2. タイトル	業績表彰規定の改定(事業性評価部門等の追加)
3. 取組み内容 および成果	<p>平成30年3月に、通常の業績部門とは別枠で、融資部支援課が毎月開催している取引企業先の「事業再生・支援にかかる個別相談会」の取組状況・成果等を評価(担当者)する事業性評価部門を追加しました。取引企業先の事業再生・支援は、手間と時間を要する業務であり、担当者のモチベーションアップを目的として新設しました。</p> <p>また、年金や相続相談など、お客様に親身になって相談に乗るなどして、顧客目線の行動や非効率なサービスの実践により、大変感謝された事例や、信用金庫職員として模範となる行動をとった職員など、営業店から推薦状を提出してもらい特別部門として個人表彰することとした。</p> <p>平成31年4月総決起大会 業績表彰 事業性評価部門 4名受賞 特別部門 11名受賞</p>
4. 外部との連携	なし
5. 担当部署名	業務部 融資部